

刊行にあたって

監修者代表 森田義之

ジョルジョ・ヴァザーリの『美術家列伝 *Le vite de' più eccellenti pittori, scultori e architetti*』(二五〇年第一版、一五六八年第二版)は、歴史上最初の公刊を意図した体系的な美術家の伝記集成であり、十四〜十六世紀の約三世紀にわたるイタリアの画家・彫刻家・建築家の生涯と作品を知るうえで、最も基本的で重要な史料的价值をもつ古典的な美術文献である。

『美術家列伝』(第二版)は、総序、技法論等に続いて、第一部(二三〇〇年代)三十一篇、第二部(二四〇〇年代)五十四篇、第三部(二五〇〇年代)八十一篇の計百七十一篇の伝記および関連する諸論を含んでいるが、今回の日本語全訳の企画では、全体を六巻の構成とし、各伝記ごとに、解説と詳細な註、可能なかぎり多数の写真図版を付して、欧米各国の翻訳版にも見られない情報量にとんだ邦訳決定版を期した。

本書の刊行によって、イタリア・ルネサンス美術への理解と関心が、美術や美術史に関心をもつ人の枠をこえて、イタリアの歴史と文化に関心をいだく多くの読者へひろがることを期待してやまない。

第1巻

献辞

第二版 献辞

美術家諸兄へ

総序

アレツォの画家ジョルジョ・ヴァザーリ

殿による、三つの造形芸術、すなわち

建築、彫刻、絵画への序論

第一部 序論

チマブーエ

アルノルフォ・ディ・カンピオ

「アルノルフォ・ディ・ラーボ」

ニコラ・ピサーノと

ジョヴァンニ・ピサーノ

アンドレア・ターフィ

ガット・ガッディ

マルガリート「マルガリートネ」

ジョット

アゴステイノ「・ディ・ジョヴァンニ

とアーニョロ「・ディ・ウエントウーラ

ステーファノ「・フィオレンティーノ」と

ウゴリーノ「・ディ・ネーリオ」

ピエトロ・ロレンツエッティ

「[ピエトロ・ラウラーティ]

アンドレア・ピサーノ

フオナミニコ・ブツファルマッコ

アンフロージョ・ロレンツエッティ

ピエトロ・カヴァリーニ

シモーネ・マルティーニ

タッデオ・ガッディ

アンドレア・オルカーニヤ

ジョットイノ

「トナマーツ・ディ・ステーファノ」

ジョヴァンニ・ダル・ボンテ

アーニョロ・ガッディ

ベルナ「バルナ・ダ・シエナ」

ドゥッチョ

アントニオ・ヴェネツィアーノ

ヤコポ・デル・カゼンティーノ

スピネッロ・アレティーノ

ゲラルド・スタルニナ

リッポ・フィオレンティーノ

ロレンツォ・モナコ

タッデオ・ディ・バルトロ

「[タッデオ・バルトリ]

ロレンツォ・ディ・ビッチ

「[タッデオ・バルトリ]

本書の構成

ドメニコ・ヴェネツィアーノ

ジェンティーレ・ダ・ファブリアーノと

ヴィットーレ・ピサネッロ

ペゼッロと

フランチェスコ・ペゼッリーノ

ベノッツォ・ゴッツオリ

フランチェスコ・ディ・ジョルジョと

ヴェッキエッタ

ガラツ・ガラツシ

アントニオ・ロッセッリーノと

ベルナルド・ロッセッリーノ

デジデリオ・ダ・セッティニヤノ

ミーノ・ダ・フィエーツレ

ロレンツォ・コスタ

エルコレ・デ・ロベルティ

ヤコポ・ペッリーニ、ジョヴァンニ・ベッ

リーニとジェンティーレ・ペッリーニ

コジモ・ロッセッリ

チエツカ

バルトロメオ・デッラ・ガッタ

ゲラルド

ドメニコ・ギルランダイオ

アントニオ・デル・ポツライウオーロと

「[ピエトロ・ポツライウオーロ]

サンドロ・ボッティチエツリ

ベネデット・ダ・マイアーノ

アンドレア・テル・ヴェロッキオ

アンドレア・マンテーニヤ

フィリッピノ・リッピ

ベルナルディーノ・ピントウリッキオ

フランチェスコ・フランチャ

「[ピエトロ・ペルジーノ]

ヴィットーレ・カルパッチョ、

他のヴェネツィアと

「[ロンバルディア地方の美術家たち

ヤコポ・トルニ、通称インダコ

ルカ・シニョレツリ

第3巻

第三部 序論

レオナルド・ダ・ヴィンチ

ジョルジョーネ・ダ・カステルフランコ

アントニオ・ダ・コレツジョ

ピエロ・ディ・コジモ

フランマンテ

フラ・バルトロメオ

マリオット・アルベルティネツリ

ラファエッリーノ・デル・ガルボ

ピエトロ・トツリジャーノ

ジュリアーノ・ダ・サンガッロと

アントニオ・ダ・サンガッロ

ラファエツロ・ダ・ウルビーノ

グリエルモ・ダ・マルチツラ

クローナカ

ドメニコ・プリゴ

アンドレア・ダ・フィエーツレと

他のフィエーツレの美術家たち

ヴィンチエンツォ・タマーニと

ティモテオ・ヴィーティ

アンドレア・ダル・モンテ・サンヴィーノ

ベネデット・ダ・ロヴェツツァーノ

バッチョ・ダ・モンテルポと

ラファエツロ・ダ・モンテルポ

ロレンツォ・ディ・クレーディ

ロレンツエツトとボツカッチーノ

バルダッサレ・ペルツツィ

ジョヴァンフランチェスコ「・ペンニと

ペッレグリーノ・ダ・モテナ

アンドレア・デル・サルトル

プロペルツィア・デ・ロッツシ

アルフォンソ・ロンバルディ、ミケラン

ジェロ・ダ・シエナ、ジローラモ・サン

タクローチエドツシとバッティスタ「・

ドッシ」

ジョヴァンニ・アントニオ・ソリアーニ

マトウリーノ・フィオレンティーノ

ロッツ・フィオレンティーノ

バルトロメオ・ラメンギ「[パニャカヴァッ

ロ]」と他のロマーニヤ地方の画家たち

フランチャビージョ

モルト・ダ・フェルトレとアンドレア・

ディ・コジモ・フェルトリーニ

マルコ・カルデイスコ

「[マルコ・カラヴレーゼ]

「[フランチェスコ・マツォーラ]

第6巻

ミケランジェロ・ブオナローティ

フランチェスコ・プリマティツチヨの

作品の記述

ティツィアーノの作品の記述

ヤコポ・サンソヴィーノの作品の記述

レオーネ・レオーニと他の彫刻家や

建築家たち

ジュリオ・クローヴィオ

イタリアのさまざまな美術家たち

フランソワのさまざまな美術家たち

アカデミア・テル・ディセーニヨ会員

ジョルジョ・ヴァザーリの作品の記述

全巻あとかき

本書の特色

■ルネサンス美術史の基本文献、待望の全文翻訳

ルネサンス美術史の基本文献であるジョルジョ・ヴァザーリの『美術家列伝 *Le vite de' più eccellenti pittori, scultori e architetti*』は、著名な芸術家の伝記については邦訳が出版されていたものの、その全訳は日本で一度も刊行されたことがない。西洋美術史における不朽の歴史的名著、ヴァザーリが 1550 年の第 1 版を大幅に書き改めて 1568 年刊行した第 2 版を、本邦で初めて完全翻訳する。

■美術史研究者による、最新の知見を盛り込んだ注解

美術史研究の第一線で活躍する研究者による新訳に加え、各伝記に、美術家の歴史的意義や第 1 版との異同を説明する解説と詳細な註を収録。イタリアのルネサンス美術史の研究状況を知るうえでも助けとなる情報を掲載する。

■本文に即した、数多くの図版

ジョット、レオナルド、ラファエッロ、ミケランジェロ、ティツィアーノ……だけではなく、ジョルジョ・ヴァザーリの語るイタリア・ルネサンスを彩った美術家たちの作品を、可能な限り図版として付載。イタリア・ルネサンス美術の全体像を視覚的にも追体験する。

彼こそ、はるか後になって美術の学あるいは美術史学と呼ばれるようになった領域へと立ち入った最初の人であった。

ワード・クルターマン『美術史学の歴史』